

裏面白紙

209

宗

丙

日

月

年

官報報告

正室明治廿九年九月九日

宗務寮總裁

(參)

宗務寮主事

(參)

大臣 知

次官

醫術商業試驗委員正七位伊庭秀榮
外二十三名叙位件

同覽
嘉慶廿九年九月廿五日

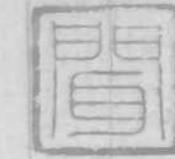
正道四年九月廿八日
臺帳記入九月廿八日
官報告白

四

官

內

省



醫術開業試験委員正七位伊庭秀榮外
二十三名敘位ノ件

右謹テ奏ス

明治四十四年九月八日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

内閣

文四九一

明治十四年九月六日

大清書記官

內閣總理大臣

醫術開業試驗委員会セシウ伊庭秀榮外三名
敘位進階内則第六條ニ依リ敘位，件

內閣

1

伊庭秀榮

峰

松山陽太郎

源田
太郎

石渡 石松

欽定四庫全書

正八位

工藤

芳春

戸田

福藏

高榮

良興

北村

重敬

岡田

穰

井深

次郎

小林

隆助

稲次

亥三郎

川上

武彦

相川富三郎

内明

藤井

金吾

森本

常吉

金森

茂

正八位平

準彌

前原

熊平

叙從七位

熟七等根岸又藏

稻葉

賢介

叙正八位

醫術開業試験委員

敘從六位 正七位伊庭秀榮

明治三十六年三月三十日正七位ニ敘セラレタル以來奏任待遇在職八年以上

醫術開業試験委員

敘正七位 峰秀世

明治三十八年二月以来奏任待遇在職通計六年以上

醫術開業試験委員

敘正七位 松山陽太郎

明治三十八年二月以来奏任待遇在職通計六年以上

文部省

右謹テ奏又

明治四十四年八月八日

文部大臣小松原英太郎



徳島縣師範學校教諭

敘正七位 従七位 池田吉乙

明治三十八年六月十日從七位ニ敘セラレタル以來奏任待遇在職六年以上

福岡縣立福田工業學校教諭

敘正七位 従七位 竹村得太郎

明治三十八年六月十日從七位ニ敘セラレタル以來奏任待遇在職六年以上

福岡縣立福岡高等女學校教諭

敘正七位 従七位 石渡石松

明治三十八年六月三十日從七位ニ敘セラレタル以來奏任待遇在職六年以上

文部省

滋賀縣立長瀬農學校長(七級體)
(六等相當)

敘正七位 従七位 石田彰

明治四十四年六月十二日增俸ニ依リ六等相當トナル

奈良縣立農林學校教諭(十級體)
(七等相當)

敘從七位 正八位 工藤芳春

明治四十四年六月七日増俸ニ依リ七等相當トナル

山口縣師範學校教諭(十級體)
(七等相當)

敘從七位 戸田福藏

明治三十九年五月以來奏任待遇在職五年以上

山縣佐波郡防府町外七箇村學校組合立南陽中學校教諭(九級體)
(七等相當)

九月十九
達

徳島縣師範學校教諭

敘正七位 従七位 池田吉乙

明治三十八年六月十日従七位ニ敘セラレタル以來奏任待遇在職六年以上

福岡縣立福岡工業學校教諭

敘正七位 従七位 竹村得太郎

明治三十八年六月十日従七位ニ敘セラレタル以來奏任待遇在職六年以上

福岡縣立福岡高等女學校教諭

敘正七位 従七位 石渡石松

明治三十八年六月三十日従七位ニ敘セラレタル以來奏任待遇在職六年以上

文部省

滋賀縣立長瀬農學校長(七級俸)

(六等相當)

敘正七位 従七位 石田彰

明治四十四年六月十二日増俸ニ依リ六等相當トナル

奈良縣立農林學校教諭(十級俸)

(七等相當)

敘正七位 正八位 工藤芳春

明治四十四年六月七日増俸ニ依リ七等相當トナル

山口縣師範學校教諭(七級俸)

(七等相當)

敘從七位 戸田福藏

明治三十九年五月以來奏任待遇在職五年以上

山縣佐波郡防府町外七箇村學校組合立南陽中學校教諭(九級俸)

(七等相當)

九月廿二日
達音

敘從七位

高桑良興

明治十六年五月以来奏任待遇在職通計三年以上

福岡縣小倉師範學校教諭（九級俸
七等相當）

敘從七位

北村重敬

明治三十八年七月以来奏任待遇在職通計三年以上

德島縣板野郡立高等學校校長（九級俸
七等相當）

敘從七位

岡田穰

明治三十九年十月以来奏任待遇在職通計三年以上

山口縣立山口高等女學校教諭（九級俸
七等相當）

敘從七位

井深次郎

明治四十年十月以来奏任待遇在職三年以上

德島縣師範學校教諭（十級俸
七等相當）

敘從七位

小林隆助

明治四十一年四月以来奏任待遇在職三年以上

福岡縣立中學明善校教諭（十級俸
七等相當）

敘從七位

稻次亥三郎

明治四十一年六月以来奏任待遇在職三年以上

福岡縣立朝倉中學校教諭（十級俸
七等相當）

敘從七位

川上武彥

明治四十一年六月以来奏任待遇在職三年以上

福岡縣立中學脩猷館教諭（九級俸
七等相當）

敘從七位 相川富三郎

明治四十一年六月以來奏任待遇在職三年以上

靜岡縣立掛川中學校教諭（十級俸
七等相當）

敘從七位 藤井金吾

明治四十一年七月以來奏任待遇在職三年以上

靜岡縣師範學校教諭（十級俸
七等相當）

敘從七位 森本常吉

明治四十一年七月以來奏任待遇在職三年以上

宮城縣立農學校教諭（八級俸
七等相當）

敘從七位 金森茂

明治四十一年七月以來奏任待遇在職三年以上

宮城縣立築館中學校教諭（十級俸
七等相當）

敘從七位 正八位 平準彌

明治四十四年六月十九日增俸ニ依リ七等相當十十九

山口縣下關測候所技師（年六百八十四
八等相當）

敘從八位 黑七芋根岸又藏

明治四十一年五月以來奏任待遇在職三年以上

巖手縣立盛岡高等女學校教諭（十一級俸
八等相當）

敘正八位 稲葉賢介

明治四十一年六月以来奏任待遇在職三年以上

右謹テ奏久

明治四十四年八月九日

文部大臣小松原英太郎



文 部 省

兵庫縣農業牧師 前原 熊平

叙從七位
右謹テ奏ス

明治四十四年八月十一日



農商務大臣印

農商務省

正七位 伊庭秀繁

大阪府士族

慶應三年二月七日生

年號	月日	任免	賞罰	資格	在職年數	通算
明治三年	三月辛日					
同四年	四月一日	醫術開業試驗委員				
同四年	四月三日	任期滿了				
同四年	四月一日	醫術開業試驗委員		奏任待遇		
同四年	四月三日	任期滿了		奏任待遇		
同四年	四月一日	醫術開業試驗委員		奏任待遇		
同四年	四月一日	醫術開業試驗委員		奏任待遇		
七月				八年三月金		
合計年月金						

文部省

峰秀世

長崎縣士族
元治元年十有生

年號	月日	任免賞罰	資格	在職年數	通算
明治三年	二月三十日	醫術開業試驗委員	委任特遇	四年	四年
同四三年	二月三日	任期滿了			
同四四年	四月七日	醫術開業試驗委員	同	二年	四年
同四四年	七月			二年	四年

合計六年
薪金

文部省

文部省		長崎縣士族 元治元年十有生			

峰秀世

長崎縣士族

元治元年十一月生

當該官衙等

年號月日 學業官職賞罰等
明治三年十一月三十日 旧五嶋福江藩校育英館ニ於テ漢學

及習字ヲ修メ

全八年七月 公立福江小學校入學

全十年七月 全校小學校卒業

全五年七月 全校中學校卒業

全七年一月三十日 東京市本郷正臺跛坂家要義

塾ニ於テ獨逸學漢學數學ヲ修メ

履歷用紙 文部省

教育 東京医科大学別課医学入學

全六年一月三十日 保志寅吉氏ニ就キ獨逸學ヲ修メ

全九年五月 東京医科大学別課医学全科卒業

全九年五月 医術開業免狀ヲ受領メ

全十三年六月三十日 帝國大學東京医科大学第一醫院内科

及外科外末ニ奉職入

全廿四年一月三十日 寺尾宮三郎氏ニ就キ獨逸學修メ

全廿八年八月三十日

全廿三年六月三十日

全廿三年五月三十日

全廿四年九月三十日

全廿四年六月三十日

全廿四年十一月三十日

全廿四年十二月三十日

全廿四年二月三十日

全廿四年三月三十日

獨逸國バイエルン洲ニエヘー大學ニ於テ内
科学及微生物學ノ講習ヲナス

獨逸國バイエルン洲エルラレケン医科大学
三人學シ。アコフェツワルトクトル、フォン、スト

(乙)

リュムペル氏ニ從て内科學專修ノ傍ラ外
科學、小兒科學、眼科學、產科婦人
科學、精神病學、病理學及病理解
剖學、分泌排泄物理學、檢查法及喉
頭檢查法、耳鼻咽喉科、講習ヲ
ナス

金壇年九月

マルテンゲン大學ニ脊髓硬膜ノアサ
モームニ就テ一論文ヲ提出シ次テ規
定ノ試験ヲ経テドクトル、ナギテー子
學位ヲ受領ス

金壇年(二月三日)
四月五日

獨逸國プロイセン州ベルリン医科大
學於テ内科學及一般治療學、電
氣療法、水治法、按摩法、講習ヲ

履歷用紙

文部省

省

十人

明治廿年八月三日

醫術開業

金壇六年四月三日

四年

金壇七年三月五日

四年

金壇八年二月三日

四年

金壇九年二月三日

四年

金壇九年三月三日

四年

金壇九年四月三日

四年

金壇九年五月三日

四年

金壇九年六月三日

四年

金壇九年七月三日

四年

金壇九年八月三日

四年

金壇九年九月三日

四年

金壇九年十月三日

四年

金壇九年十一月三日

四年

金壇九年十二月三日

四年

金壇十年一月三日

四年

金壇十年二月三日

四年

金壇十年三月三日

四年

内閣文部省

全

(乙)

廿二年正月廿二日
醫術關共試驗卷之三

全

履歷用紙

文部省

223

文 部 省	松山陽太郎	東京府平民		明治六年四月六日生		在職年數 通算
		年號	月日	任免	賞罰	
	明治六年二月三日	西國衛開業試驗委員	四年	四年	四年	
	同上年二月三日	任期滿了				
	同四年四月七日	西國衛開業試驗委員	四年	四年	四年	
	同四年七月	奉任待遇				
		二年三月金				
		二年六月金				
		合計二年六月金				

松山陽太郎

東京府平民

明治六年四月六日生

年號月日 學業官職賞罰等

當訟官衛等

明治九年九月 東京慈惠醫院醫學校入學

金七年七月 全校卒業

金八年四月 東京ニ於テ医術開業試験及第前詔

金八年四月

上

後期

育 医術開業免狀ヲ受領。ニ第八千三百四十號ヲ以テ医籍ニ登録セラル

金九年二月 医術研究ノ為ノ獨逸國ニ留學ス

金十年二月 ストラスブルゴ大學ニ於テ論文ヲ提出

履歷用紙

文部

省

シテ合格医學全科ノ口答試験及
第レドクトルノジテー号ノ學位ヲ受

領入

金十三年七月 歸朝

九月 東京芝區三田ニ医術開業ニ專シ

内科病、診療ニ從事ス

金七年二月 東京慈惠醫院醫學専門學校教

授ヲ嘱託セラレ專ニ内科學ヲ教授

又東京慈惠醫院内科外來患者

ヲ診療入

金九年八月 医術開業試験委員被仰付

教育省醫術開業試験委員手書トシテ金賞賜給與

金九年十月 賦詩一首

西番繪

文部省
全

(乙)

令寧年 育音
令寧年 育音
令寧年 育音
令寧年 育音

全

内

醫術開業試驗委員手當トシテ金八拾圓鑑
醫術開業試驗委員手當トシテ金八拾圓鑑
醫術開業試驗委員手當トシテ金八拾圓鑑
醫術開業試驗委員手當トシテ金八拾圓鑑

文部省
内閣

冒老百 医術開業試驗委員被仰付

育音 藥術開業試驗委員手當トシテ金貳百圓鑑

育音 藥術開業試驗委員手當トシテ金貳百圓鑑

文部省

履歴用紙

文部

省

學位	位勳爵	生年月日	明治元年三月二十五日	原籍	靜岡縣駿河國靜岡市中八幡所番外	府縣族籍	從七位	池田吉乙	氏名
年号月日	學歷任免賞罰事故	官銜	舊氏名						
明治六年六月十日	敘從七位	官内省							
明治九年七月廿五日	小学校教員、檢定事務二級、從七位、ノーベルニ依リキテ 金六月終典 ^ス	德島縣							
明治十二年七月廿二日	全上金六円給與 ^ス	德島縣							
明治十三年七月廿日	職務勉勵三月金於或圓賞與 ^ス 其技生徒修學並行監督トシテ東京京都三重神奈川、奈良大阪、土張ノ全上	德島縣							
明治十四年四月廿七日	金六月終典 ^ス	德島縣							
明治十五年七月廿五日	尋常小學校教員講習会講師ヲ嘱託 ^ス	德島縣							
明治十六年八月廿八日	尋常小學校教員講習会講師ヲシテ勤房不敷ニ 係り金四拾月終典 ^ス	德島縣							
明治十七年七月廿日	尋常小學校教員講習会講師ヲシテ勤房不敷ニ 係り金六月終典 ^ス	德島縣							
明治十八年三月廿三日	職務勉勵二月金於或圓賞與 ^ス	德島縣							
明治十九年三月廿一日	年年歩歩式於四月支給(全月監)	德島縣							
明治十九年三月廿一日至廿二日	十級俸下賜	德島縣							
明治十九年五月六日	算賸ヲ免又	德島縣							
明治十九年六月十二日	尋常小學校在科正教員講習会博物科 講師ヲシテ勤房不敷ニ	德島縣							
明治十九年九月十一日	尋常小學校在科正教員講習会講師二科工 手作トシテ金五拾七円終典 ^ス	德島縣							
明治二十一年三月廿二日	小學校教員講習會主考ニ特事セシム係り金六月終典 ^ス	德島縣							
明治二十一年十月廿二日	職務勉勵二月金於或圓賞與 ^ス	德島縣							
明治二十一年三月廿二日	九級俸下賜但歩歩年俸八萬摺月下賜	德島縣							
明治二十一年六月廿九日	上京、序ラシテ靜岡縣、出張ヲ命令ス	德島縣							
明治二十一年七月廿日	小學校教員於走馬場、從事セレニ係り有手當 金六月終典 ^ス	德島縣							

履歴用紙

—徳島縣

明治二年三月廿一。職務勉勵二月金於五圓賞與。
明治二年三月一。中学校教員候選定奉行、從事レタルに係り着手
明治二年三月廿一。職務勉勵二月金於五圓賞與。

徳島縣
徳島縣

福岡縣立福岡工業學校教諭竹村得太郎

年号 月日 任免賞罰事故

官在教行職

世宗憲皇帝
十四年五月一日
金衍
九級俸下賜
八級俸下賜
左
聖年三月一日

四庫全書

履歷用紙

福岡縣

福岡縣立福岡高等女學校教諭 石渡石松

千葉縣平民 明治元年三月廿一出生

年号 月日 任 免 賞 罰 事 故

官在
年 教術

明治十八年六月三十日

敍從七位

十九年五月十五日

岐阜縣惠那郡中津町立中津高等女學校長兼

岐阜縣惠那郡中津町立中津高等女學校教諭ニ任ス

全 日

十一級俸下賜

四十一年五月八日

福岡縣立福岡高等女學校教諭ニ任ス

全 日

十級俸下賜

四十四年六月三十日

履歴用紙

福岡縣

項事載記

狂官、議官、轉官、叙位、叙勳功並從軍記章、叙賞、外國勳章佩用許、賞與、懲罰、武官補職罷役退職、委員、分課、
官公立學校職員、教員嚮記、内地出張、外國派遣並歸期、恩給並一時獎金、官公立學校入學卒業、官費留學、内外學
位、轉籍改氏名、官廳廢置、官等改正此他職務上、就キ官廳ヨリ命令ヲ受ケタル事件ハ悉皆記載スヘシ、書體ハ楷書ニ
テ記入而ノ通記載スヘシ(業務、學業等ニ區分セス茲ラ詳介ヲ受ケタル月日ノ順ニ依リ記スヘシ)

官廳廢置及官等改正ハ朱書きスヘシ

官位勳功 滋賀縣立長瀬農學校長並滋賀縣立長瀬農學校教諭從七位 氏 石田彰

官位爵稱 平氏

舊籍

產地

舊氏名

官衙

生年月日 明治四年十一月廿七日 原籍 大阪府泉州郡中百舌鳥村太子福第百番地

現住所 滋賀縣長瀬町

任免賞罰事故

明治五年十月四日 山口縣立農業學校教諭に任ス

左日八級俸下賜

官衙

内閣

金四年一月三日敍從七位 三月三日七級俸下賜

山口縣立農業學校長並山口縣立長瀬農學校教諭に任ス

左日八級俸下賜(校長恰)

官衙

内閣

滋賀縣立長瀬農學校長並滋賀縣立長瀬農學校教諭に任ス

左日七級俸下賜(校長恰)

官衙

内閣

滋賀縣立長瀬農學校長並滋賀縣立長瀬農學校教諭に任ス

左日七級俸下賜(校長恰

奈良縣立農林學校教諭正八位工藤芳春

明治三十八年十一月廿九日

一 奈良縣立農林學校教諭二任又

内閣

一十一級俸下賜

但當分年俸六百五拾圓下賜

奈良縣

同四十年五月十四日

一十一級本俸下賜

同

同四十二年二月十日

一 敦 正八位

同四年十二月二十二日

宮 内 省

同四十三年十二月廿三日

奈
良
縣

一 職務格別勉勵金拾貳圓實興又

同

同四十四年一月十七日

一 依願免僉職（舍監）

同

同四年六月七日

一十級俸下賜

同

但當分年俸七百七拾圓下賜

山口縣師範學校教諭 戸田 福藏

本籍 新潟縣越後國吉老郡太田村第百十三番地
 現住所 山口縣周防國敷那山町第七百三十九番屋敷

明治三十九年五月十五日

熊本縣師範學校教諭 佐々

内閣

十一級俸下賜 但當支六百六十拾円

熊本縣

同 四十一年二月十九日

一山口縣師範學校教諭 佐々

内閣

十一級俸下賜

山口縣

同 年二月十九日

一所屬中學校主事 佐々

同 年七月三十日

十一級俸下賜 七百四十円下賜

同 四十四年三月三十日

十一級俸下賜 七百七十円下賜

同 年八月三日

山口縣佐波郡防府町外七箇村
學校組合立周陽中學校教諭 高桑 良興

本籍石川縣加賀國金澤市十三間町第一番地
現住所山口縣周防國佐波郡防府町無番

明治三十六年五月四日

一石川縣立高等女學校教諭：任ス

内 間

一十二級俸下賜

石川縣

同 三十八年十一月二十九日

一頼、依リ本職ヲ免ス（病氣）

内 間

同 四十三年二月十七日

一山口縣佐波郡防府町外七箇村學校組合立周陽中學校教授

嘱託ヲ命ス 月手當六拾六圓給與

山 口 縣

同 年三月五日

一山口縣佐波郡防府町外七箇村學校組合立周陽中學校教授：

任ス

内 間

一十級俸下賜

山 口 縿

同 四十四年三月三十日

一九級俸當分八百五拾圓下賜

同 年七月一日

福岡縣小倉師範學校教諭北村重敬

原籍 高知縣香美郡赤岡町須留田五番屋敷
現住所 小倉市堺町九丁四番地

年号	月日	任免賞罰事故	官衙
明治三十八年七月	奈良縣女子師範學校教諭ニ任ス	内閣	
全 日	十一級俸下賜	奈良縣	
全年青辛	職務勉勵三月金七圓賞獎	全	
全年青夏	十級俸下賜 但當分年俸七百五十圓給與	全	
全年青辛	職務勉勵三月金拾圓賞獎	全	
全年青夏	頭三依リ本職ヲ免ス	内閣	
全年青夏	福岡縣小倉師範學校教諭ニ任ス	全	
全 日	九級俸下賜 但當分年俸八百四十圓下賜	福岡縣	
全年青夏	福岡縣小倉師範學校舍監ニ兼任ス	全	
履歴用紙	福岡縣		
明治三十九年一月	月半當參圓給獎	福岡縣	
全年十月廿一日	九級俸下賜	全	
全年青夏	職務勉勵三月金八圓賞獎	福岡縣	

岡田 穣

位 動 露		學 位		位 動 露		學 位	
府 縣 族 籍		生 年 月 日		原 藤		現 在 所	
年 号	月 日	學	歷	任 免	賞 嘉	產 地	舊 氏名
明治二年九月廿六日	慶應元年八月廿六日	岡山縣平民				石留村今レ	
明治三年三月廿四日	同上	岡山縣農業課合司大生西河内百九十九番地					
明治四年四月四日	任群馬農業課中	農科大學					
明治五年一月十日	給四級俸	農科大學					
明治五年一月十日	由務部半四郎勤務ヲ命下ス	全					
明治五年一月十日	半四郎勤務事内勞人並事務員ニ命下ス	全					
明治五年一月十日	群馬縣農業課中	群馬農業課	全				
明治五年五月三十日	理本ノ事務ヲ命下ス	農業課	全				
明治五年十月十五日	祀科格付官吏ヲ命下ス	群馬縣	全				
明治六年三月十日	獸医師鉢巻名許前後妻タシ年夫	群馬縣	日				
明治六年三月十八日	職務格別勉勵金并金持於向ノ者此	群馬縣	日				
明治六年三月廿一日	金持内シ貢呈	群馬縣	日				
明治六年三月廿一日	金持内シ貢呈	群馬縣	日				
明治六年六月十一日	齊景限令半四郎等年夫	群馬縣	日				
明治六年六月十一日	技術免職本ノ命下ス	群馬縣	日				
明治六年六月十一日	技术免職本ノ命下ス	群馬縣	日				

明治 1 年 3 月 3 日	職務特別懲勵奉金並於用費與支	富山縣農業會	月
明治 1 年 6 月 1 日	富山縣農業會技術員	富山縣農業會	月
明治 1 年 3 月 1 日	年俸金八百円ヲ給與	富山縣農業會	月
明治 1 年 8 月 1 日	平素耕作業事務運営奉年俸ヲ年俸	富山縣農業會	月
明治 1 年 8 月 1 日	勸業奉公務ヲ賜	富山縣農業會	月
明治 1 年 10 月 1 日	佐富山縣技術員俸金參月ヲ賜ス	富山縣農業會	月
明治 1 年 3 月 1 日	才三部 勤務ヲ年俸	富山縣農業會	月
明治 1 年 3 月 1 日	勸業奉公務年俸中半額トレテ全俸同 給與	富山縣農業會	月
明治 1 年 3 月 1 日	本務特別懲勵奉金於同上貴賜	富山縣農業會	月
明治 1 年 4 月 1 日	明治 1 年 7 月 1 日件ノ如ヒリ全六臂賜 依承職務ヲ名ス	富山縣農業會	月
明治 1 年 7 月 1 日	富山縣耕作整理課主奉公務ヲ賜	富山縣農業會	月
明治 1 年 7 月 1 日	履歴用紙	德島縣	月
明治 1 年 7 月 19 日	月俸金八百円ヲ給	富山縣農業會	月
明治 1 年 1 月 1 日	富山縣農業會技術員	富山縣農業會	月
明治 1 年 1 月 1 日	年俸金五百五拾円給與	富山縣農業會	月
明治 1 年 10 月 1 日	富山縣農業技術員	富山縣農業會	月
明治 1 年 1 月 1 日	年俸高千円下賜	富山縣農業會	月
明治 1 年 1 月 1 日	才三部 勤務ヲ年俸	富山縣農業會	月
明治 1 年 1 月 1 日	富山縣耕作整理副主任ヲ年俸	富山縣農業會	月
明治 1 年 3 月 1 日	事務特別懲勵奉金並於用費與支	富山縣農業會	月
明治 1 年 3 月 1 日	耕作整理二閏二才二種講習ヲ修了ス	富山縣農業會	月
明治 1 年 7 月 1 日	内務部勸業農務課長ヲ年俸	富山縣農業會	月
明治 1 年 7 月 1 日	内務部勸業課主事等明治四十年通常 縣會議事一卷典ヲ金レス	富山縣農業會	月
明治 1 年 7 月 1 日	北海道移住民事務取扱嘱託、慰勞ト	富山縣農業會	月
明治 1 年 8 月 1 日	北海道移住民事務取扱嘱託、慰勞ト	富山縣農業會	月

明治 1 年 1 月 廿一 日	レテ金支於内賜典	北海道
明治 1 年 1 月 廿一 日	車務務別額勅末金支於内賜典	富山県 富山縣會
明治 1 年 3 月 三日	不會在職中貢獻セラレ充功績多大	日
明治 1 年 6 月 三日	三依リ慰房トシテ金四拾圓ヲ賜典	日
明治 1 年 6 月 三日	願レ依リ車務ヲ免ス(奥村常吉沙)	内閣
明治 1 年 8 月 10 日	終五級俸(新枝子)	内閣
明治 1 年 8 月 10 日	依願免下官	内閣
明治 1 年 8 月 10 日	北海道移住民車務未投票者店ヲ解	北海道
明治 1 年 8 月 10 日	北海道移住民車務未投票者店ノ解免方ト	日
明治 1 年 9 月 廿六日	レテ金支於内賜典	日
明治 1 年 9 月 廿六日	協賀縣役所郡立庄業學校事務局	德島縣
明治 1 年 9 月 廿六日	縣役所郡立庄業學校教諭一候ス	内閣
明治 1 年 9 月 廿六日	九級俸半賜	内閣
明治 1 年 9 月 廿六日	東京在住ハ生張ヲ命下ス	德島縣
明治 1 年 9 月 廿六日	同上	德島縣
明治 1 年 9 月 廿六日	大阪府在生張ヲ命下ス	德島縣

山口縣立山口高等女學校教諭井深次郎

本籍長野縣信濃國下伊那郡松尾村第十九百拾貳番地
現住所山口縣周防國吉敷郡山口町第十六百五拾參番屋敷

明治四十年十月三十日

一久留未市立久留未高等女學校教諭・佐々

内閣

一一級俸下賜

福岡縣

一山口縣立山口高等女學校教諭・佐々

内閣

一十級俸下賜

山口縣

同四十四年三月三十一日

一九級俸下賜

九〇〇

同年七月一日

小林 隆助

學位	勳爵	名 氏	
府縣族籍	年号月日	產地	舊氏名
生年月日	明治十年二月八日	讚岐國綾歌郡羽麻林	
原籍	秀川縣綾歌郡羽麻林大字羽床下三百六十七番地		
現在所			
學歷	任免賞罰事故	官銜	
明治五年三月廿九日 香川縣師範學校，程程々卒業矣			
明治八年四月一日至 香川縣役所内於予空教科以教員として就任秀川縣			
明治九年四月十日 香川縣師範學校訓導ニ任ス			
明治九年八月一日 五級下俸給典			
明治九年十一月一日 三級一等	香川縣高松市高松高等小學校訓導ニ任ス	日	
明治九年十一月一日 立舉中級俸給典		日	
明治九年十一月一日 五級下俸給典		日	
履歴用紙	德島縣	官銜	
明治九年三月三日 高等師範學校在學中休職ヲ命ス	日		
明治九年三月三日 職務種別勉勵金或円慶典	日		
明治九年三月三日 高等師範學校在科博物學部，程程々卒業矣	日		
明治九年三月三日 師範學校、中學校、高等女學校、教育科附			
明治九年三月三日 物科農業科、教員タルコトヲ免許ス			
明治九年三月三日 福井縣二奉職スベレ	文部省		
明治九年四月二日 福井縣師範學校教員兼訓導ニ任ス	福井縣		
明治九年四月二日 六級俸給典	日		
明治九年六月十二日 小學校教員檢定臨時委員會金	日		
明治九年六月十二日 職務種別勉勵金七圓賞典	日		
明治九年六月九日 小學校教員檢定臨時委員會金	日		
明治九年六月九日 小學校教員檢定臨時委員會金	日		
明治九年六月廿二日 職務種別勉勵金拾圓賞典	日		

明治年六月十九日	小學校教員檢定臨時委員大會	日
明治六年七月廿三日	五級俸給典	日
明治七年五月一日	福井縣師範學校全監兼任不加俸トレテ月額三円五拾於半發典	日
明治七年五月三日	職務特別勉勵金金於五圓賞典	日
明治七年五月九日	德島縣師範學校教務二任不	日
明治七年五月十一日	十一級俸下賜	日
明治七年五月十二日	德島縣師範學校附屬小學校主事之命	日
明治七年五月十三日	雙十小學校教員檢定臨時委員大會	日
明治七年六月十六日	尋常小學校本科教員講習会教育科講師之金	日
明治七年九月十一日	尋常小學校本科教員講習会講師之金於九月一日前發給	日
明治七年九月十九日	渥賀縣一出席張之金ノ	日
明治七年十月八日	第六回小學校教員檢定臨時委員大會	日
明治七年十月九日	小學校教員檢定事務二任不レタルニ依リ有手寫金于四月發給	日
明治七年十一月十五日	東京在へ出張之金ノ	日
明治七年十一月廿八日	第五回小學校教員檢定臨時委員大會	日
明治七年十二月廿七日	第十級俸下賜但為初年俸七百六十圓下賜	日
明治八年一月廿九日	第五回小學校教員檢定臨時委員大會	日
明治八年二月廿九日	小學校教員檢定事務二任不レタルニ依リ有手寫金於四月七日於齊發與ス	日
明治八年三月三日	職務勉勵二升金於六圓賞與	日
明治八年四月廿九日	第六回小學校教員檢定臨時委員大會	日
明治九年九月十九日	第五回小學校教員檢定臨時委員大會	日

履歴用紙

—徳島縣—

明治3年正月廿二日
職務勉勵ニ付金拾弐圓賞與。
明治11年3月1日
小学校教員賛定事務ニ係事シルニ依り居手當
金半月七拾五円経典ス
明治11年1月1日
徳島第一小學校教員詮定臨時委員大會
明治11年4月廿二日
第十九回小學校教員詮定臨時委員大會

徳島縣
徳島縣

福岡縣立中學明善校教諭 稲次亥三郎

原籍久留米市篠山町三百三十番地

現住所

上

年号 月日

任免賞罰事故

官衙

明治二十一年正月一日
福岡縣立中學明善校教諭二任入
十級俸下賜 但多今年俸首齋内附下賜
全年青書
職務勉勵二付金參拾圓賞與
里年八月廿日
十級俸下賜 但多今年俸首齋内附下賜
全年青書
職務勉勵二付金九圓賞與
里年十二月廿日
全 上 金拾肆圓賞与

履歴用紙

福岡

縣

福岡縣朝倉中學校教諭川上武彦

原籍鹿兒島縣姶良郡加治木村大字又土四百八十番戸

現住所福岡縣朝倉郡甘木町

年号 月日

任 免 賞 罰 事 故

官 僕

明治三十一年正月一日
福岡縣立中學明善校教諭二任ス
十級俸下賜 但當金年俸三百六十円下賜
金年俸三百六十円
職務勉勵二付 金給參四百六十円
四十一年七月廿一日
十級俸下賜 但當金年俸七百二十円下賜
金年俸七百二十円
職務勉勵二付 金九百圓
福岡縣立朝倉中學校教諭三任入
十級俸下俸賜

履歴用紙

福岡

福岡縣立中學修猷館教諭相川富三郎

原籍 神奈川縣橫濱市中村町千四百九十五番地
現住所 福岡縣早良郡鳥飼村大字三於立番地

年号 月日 任免賞罰事例 宮衙
明治四十一年六月一日 免
福岡縣立中學修猷館教諭二任 内閣
九級俸下賜
全 年青音 藏脇勉勵二升金七圓賞典 全
全 年青音 全 上二升金五圓賞典 全
全 年青音 全 上二升金五圓賞典 全

履歴用紙

福岡縣

静岡縣立掛川中學校教諭 滕井 金吾

兵庫縣平氏

明治五年五月廿八日生

明治四十一年七月廿二日 静岡縣立掛川中學校教諭住
十一級俸下賜但當年俸
大約六百圓經累

同四十二年四月五日 奉任靜岡縣立掛川中學校舍監

同 同 十一級本俸下賜

同四十三年三月三十日 十級俸下賜

同四十四年七月三十日

奉任待遇

三十一年

三十一年

靜岡縣

靜岡縣師範學校教諭 森本常吉

千葉縣平民

明治五年五月九日生

明治四十一年七月廿二日	靜岡縣師範學校教諭三任ス
	十級俸下賜 <small>相当年俸 七百圓任給与</small>
同 四十二年三月三十日	兼任靜岡縣師範學校舍監
同 四十三年三月三十日	十級俸下賜 <small>相当年俸 七百六十二元</small>
同 四十四年七月廿一日	

靜岡縣

官城縣立農學校教諭兼	勳官位	勳官
官城縣立農事試驗場技師	學位爵	學位爵
和歌山縣士族	府縣族籍	府縣族籍
明治十四年八月廿六日	生年月日	生年月日
和歌山縣海草郡宮村太字秋月三百五十番地	本籍	本籍
官城縣仙臺市米袋廣丁八番地ノ二	現住所	現住所
明治四十五年七月廿五日	年號	年號
官城縣立農學校教諭兼官城縣農事試驗場技師ニ任ス	月日	月日
事試驗場技師ニ任ス	任免	任免
九級俸下賜	賞罰	賞罰
全日	事	事
全日	故	故
年俸三十圓下賜（農事試驗場技師）	官衛	官衛
全四十一年四月一日	内閣	内閣
八級俸下賜（但九百八十円支給）	官上	官上
七等	上	上
宮城縣	宮城縣	宮城縣
履歷用紙	宮城縣	宮城縣

官	勳	官
學位	功	學位
爵	勳	爵
府縣旗籍	生年月日	府縣旗籍
本籍	本籍	舊藩
現住所	現住所	舊氏名
年號	年號	名 氏
明治四十年七月二日	慶應三年六月七日	平 準 彌
任免賞罰事 故	山形縣東置賜郡和田村太字元和田二千三百四十八番地	舊藩
敍正八位	宮城縣栗原郡築館町百九十九番地	舊氏名
十一級俸下賜 (七百円)	全四署六月十九日	官
十級俸下賜 但七百五十円支給 (七等)	土月四日	內省
		官
		宮城縣
		上

履歴用紙

宮 城 縣

山口縣下閏測候所技師勲七等根岸又藏
本籍千葉縣上總國君津郡秋元村芦威百貳拾九番屋敷
現住所山口縣長門國下閏市大字閏後地村中時茅子七百拾武者地

明治四十一年五月二十三日

一山口縣下閏測候所技師仕入

同

日

一十級俸下賜

同 年十二月二十四日

一職務勉勵三付金貳拾圓賞與入

同 四十二年十二月二十五日

一前金貳拾圓賞與入

同 四十三年十二月二十六日

一叙勲七等授瑞寶章

同 年十二月二十六日

一職務勉勵三付金拾八圓賞與入

同 四十四年四月一日

一年俸六百八拾圓下賜

同 年七月一日

山 口 縣

賞 勳 局

履歴書

靈巖手縣立國高女學校教諭稻葉賢才

明治四十一年六月一日

靈巖手縣立高女學校教諭候 内閣

左 日十二級俸下賜(年俸六百圓)

右 甲午六月七日十一級俸下賜(年俸六百圓)

左 四年四月一日 略手縣立國高女學校下改稱

右 二年三月三日 士級俸下賜(但當年方資半圓)

履歴

岡山縣平氏前原熊平

慶應二年三月十三日生

左 日 一、兵庫縣農業技術士生人 内閣

一年俸七百圓下賜

兵庫省

明治四十一年七月二十五日

合四十三年三月三日

一年俸八百圓下賜

同

文 部 省

文甲參二三號

伊庭秀榮外二名敘位，件

右上奏書及進達候也

明治四十四年八月八日

文部大臣小松原英太郎



内閣總理大臣公爵桂太郎殿

裏面白紙

文 部 省

文部省四七九

池田吉乙外十九名敍位ノ件
右上奏書及進達候也

明治四十四年八月九日

文部大臣小松原英太郎



内閣總理大臣公爵桂太郎 殿

裏面白紙

内閣第一七四號

兵庫縣農業技師前原熊平奏往侍遇在職滿三年以上ニ及ヒ勤勞アルニ付文武官敘位進階内則第六條ニ依リ相當位、敍セラレ度履歴書ヲ呈

別紙上奏書追達ス

明治十四年八月十一日

農商務大臣總督大清

内閣總理大臣公爵桂太郎殿

農商務省

官總勞六四利

奏往待遇者候位之義內申

其庶務事務枝

從上位

前原照平

右叙位進階內事勞六条之候事
正後位為候否乞減取應事深于此
為乃四甲為也

明治四十四年八月七日

音原照平印

典名高麗右臣多君大浦昌平效

農商務省



(西服精)

丙
九月十二日
右本日叙位相成候ニ付位記及回送候條傳達方御

取計有之度候也

明治四十四年九月十二日

宗秩寮總裁侯爵久我通久

文部省

聖書
印鑑
丙
景
六
九月廿日

明治二十四年九月十二日

内閣書記官

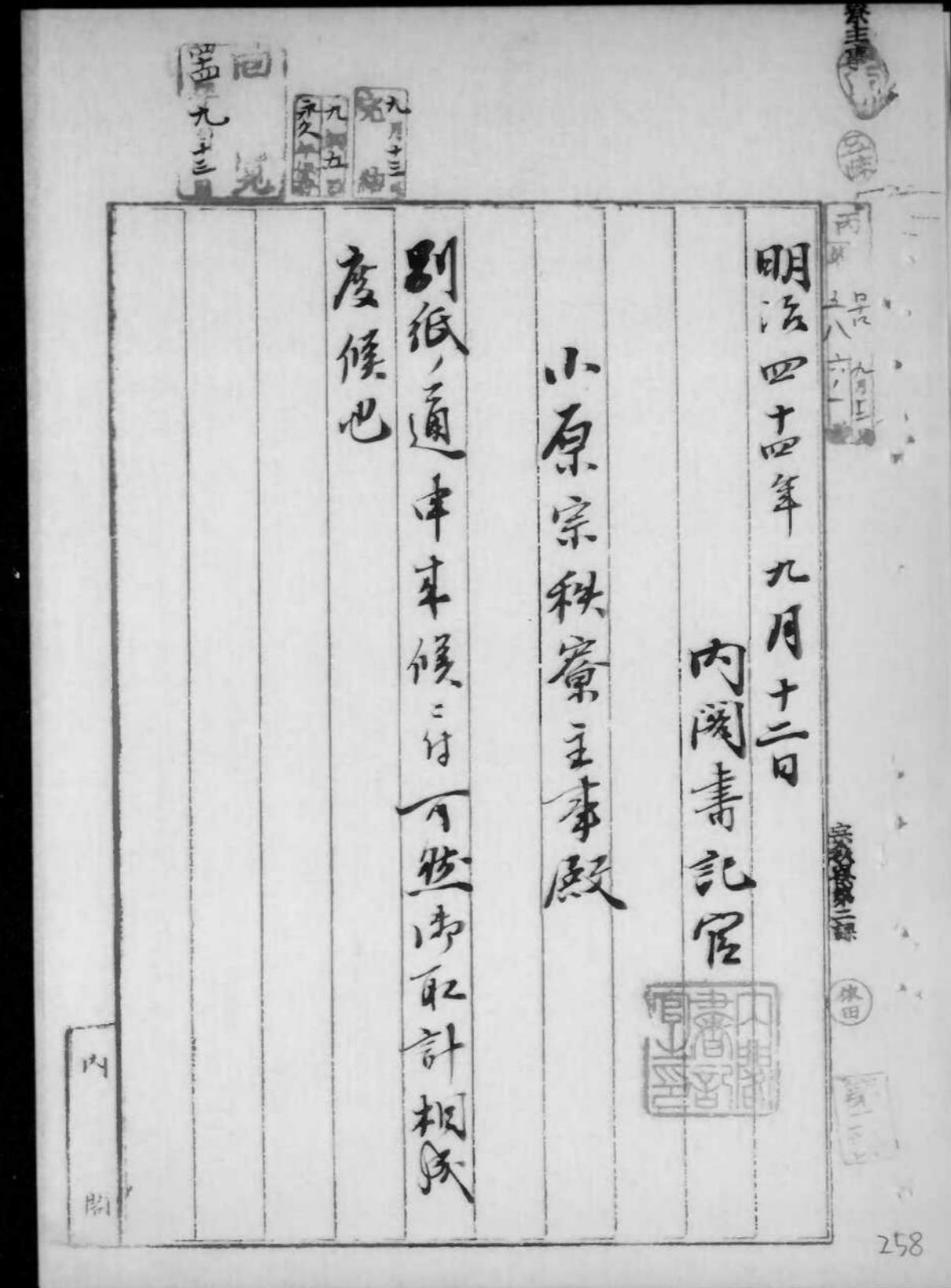
小原宗秩寮主事殿



別紙通中事候三付下然拂取計相候
度候也

回
九月十三日
交
九月十五日

内
閣



客月九日付敍位上奏者中牟婁縣立農林
學校教諭正八位工藤芳春從七位陞敍
件同人病氣危篤ニ瀕シ亥條特別ノ御
詮議ヲ以テ本日敍位相成様モ取計相成
度其段及御依頼候也

明治四十四年九月廿日

文部次官福原鐸二郎



内閣書記官長南弘殿

文 部 省

奉手事

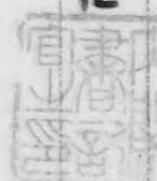
參照長部三課

印

三課

明治十四年九月十五日

内閣書記官

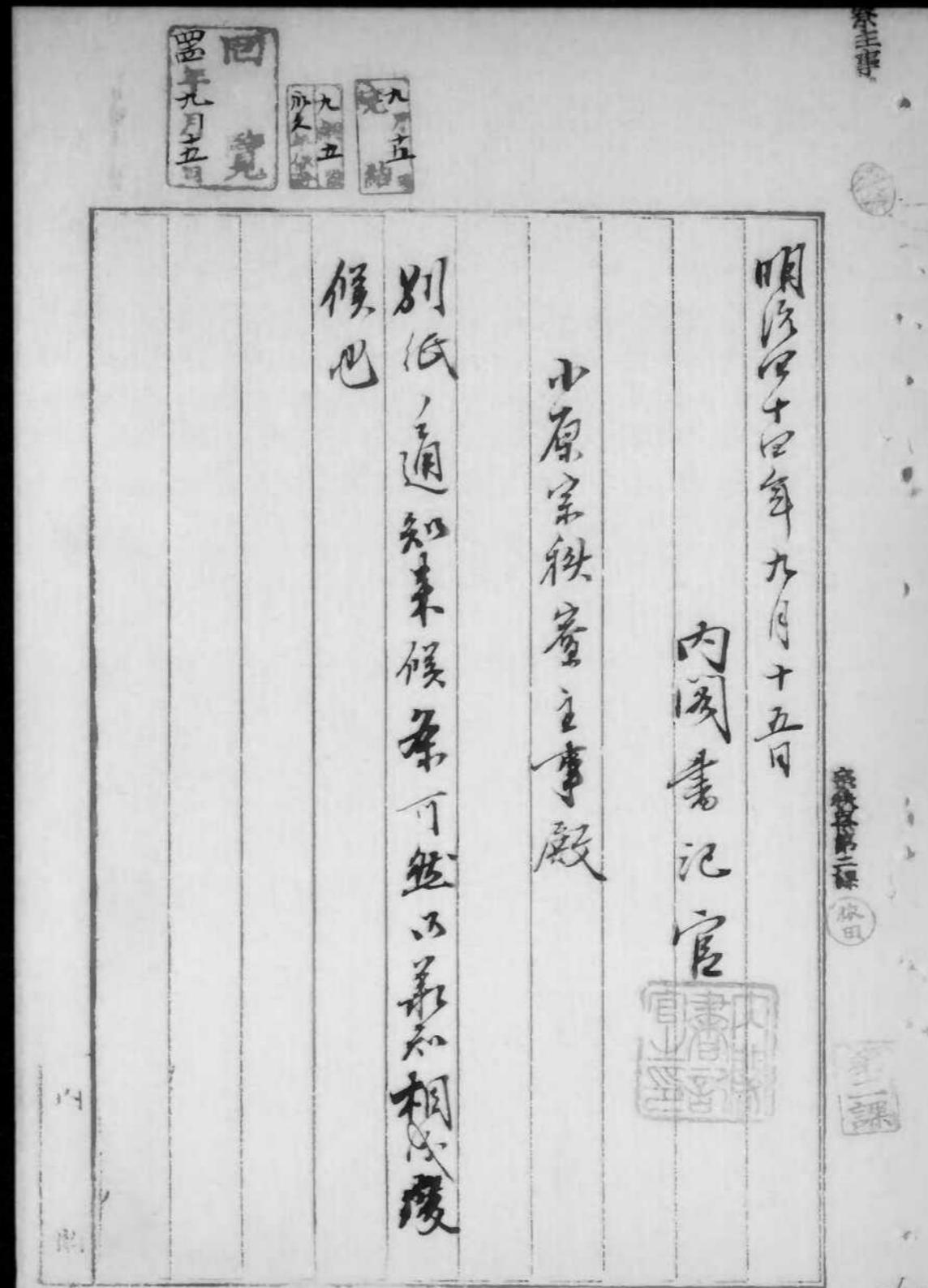


小原宗祇堂主事殿

別紙通知奉候第可然以承太相承覆
候也

回
覧
置
元
九
月
五
日

九
立
九
月
五
日



職乙第479號 内

左記ノ件及通知候也

明治四十四年九月十四日

文部大臣官房秘書課長黒澤次人

文部大臣
官房秘書
課長

内閣書記官 広中

記

一密月九日付職乙第479號位上奏者申病
多事之煩局工業多般支那竹村得左等

昨十五日鶴友館主工事事務長に就任せり
所幸もあ事なり